

各位



行政機関からの預金照会・回答業務の自動化について ～ 業務のデジタル化「無人化・ペーパーレス化」を実現 ～



株式会社池田泉州銀行（頭取CEO 鶴川 淳）は、2022年4月18日（月）より、行政機関からの預金照会・回答業務のオンライン対応として、株式会社NTTデータが提供するサービス「pipitLINQ（ピピットリンク）」を導入しますので、お知らせいたします。

1. 目的

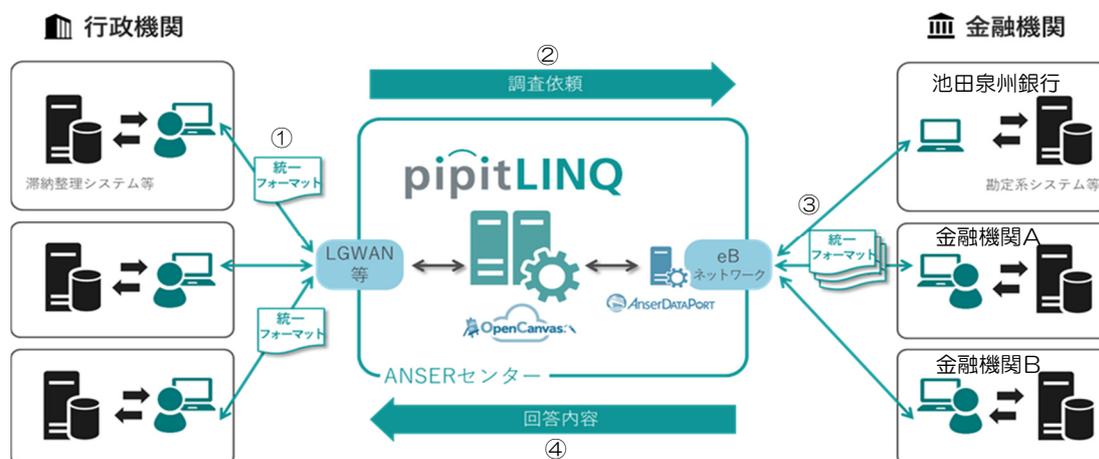
本サービス導入により、行政機関からの預金照会の受付・回答について、これまでの「書面」から「電子データ」となり、業務のデジタル化「無人化・ペーパーレス化」が実現します。

当行および行政機関双方において、人手による作業の削減（業務効率化）や照会書・回答書の郵送不要（経費削減）、行政機関において、回答受取までの期間がこれまで約1ヶ月必要だったものが、2日へと大幅に短縮（迅速化）されます。

2. 取扱開始予定日

2022年4月18日（月）

【預金照会のサービスイメージ】



- ① 行政機関は各金融機関あての依頼データを「pipitLINQ」に送信
- ② 「pipitLINQ」が各金融機関に振分け
- ③ 各金融機関は回答データを「pipitLINQ」に返信
- ④ 「pipitLINQ」が各金融機関からの回答データを各行政機関に振分け

当行は、今後も引き続き、デジタル技術を活用し、お客さまへのサービス向上、ならびに業務効率化に取り組んでまいります。

以上

当行はプレスリリースに関連するSDGs 17のゴールのアイコンを掲載しております。



池田泉州ホールディングスグループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。